

「見附駅こんな感じで使いたい発表会」開催概要

会場:ネーブルみつけ 多目的広場

日時:令和4年1月15日(土)14:00~

来場者数:94人

【企画の趣旨】

今年も「みつけ駅周辺つかう会議」では、将来の見附駅をイメージした賑わいや交流を創出するための社会実験を検討してきました。残念ながら、予定していた社会実験は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止になりましたが、「これまで考えてきたアイデアを皆さんに聞いて欲しい!」ということで発表会を開催することにしました。そのほか、大学生や見附高校生によるアイデア発表も行いました。

【当日スケジュール】

- 14:00~ 開会
「みつけ駅周辺つかう会議」からのご挨拶
- 14:05~ 「みつけ駅周辺つかう会議」のこれまでの活動紹介
- 14:25~ 発表① つかう会議で考えた社会実験の発表
- 15:10~ 発表② 見附高校2年生の発表
- 15:00~ 閉会
- 15:35~ NPO法人 doみつけ(承認申請中)の活動計画を紹介



= 当日の発表内容 =

【見附駅「こんな感じで使いたい」をプレゼン発表】

会場の雰囲気は、昨年の秋に見附駅の駐輪場2Fで社会実験としてやりたかったイメージを再現しました。再現したカフェを会場に、つかう会議の各チームで検討した「こんな感じで使いたい」企画を寸劇などを交え、プレゼンテーション形式で発表しました。

① 《カフェ活用チーム》 カフェの設え

- ・将来オープンを予定している駐輪場カフェをイメージし、電車やバスの待ち時間など、若者が自然と集まるようなオシャレで居心地の良い空間をコンセプトに設営。
- ・中高生が様々な出会いを通して、将来のことを考えるきっかけが見つかる、子育てママさん達にとって、悩みやアドバイスを語り合う仲間が見つかる、様々な文化を認め、自分を表現できる場所が見つかる等、「何もなかった見附駅」を「みんなの〇〇が見つかる見附駅」にすることをコンセプトに検討しました。

② 《ママ向けチーム》 平日の午前中の活用方法

- ・親子サロンやおさがり交流会、駅前マルシェ等の「みつけるアクティビティ」を通じて、子育て世帯と社会を繋げることで「孤育て(こそだて)」を無くしたい。
- ・子育ては社会での「ブランク」ではなく、視野や価値観を広げられるタイミング。そのようなチャンスが提供できるような場所にする取り組みのアイデアです。

③ 《若者向けチーム》 新たなコミュニティを創出する仕組み

- ・「若者の交流拠点」として、新しいコミュニティを創出する企画。
- ・趣味トーク、将来探しトーク、高校自慢トークなどの「トークセッション」を企画し、若者同士がつながれる場所を提供する仕組みづくりを検討しました。

④ 《多世代向けチーム》 みつけの文化・歴史を楽しく継承

- ・見附の中間に位置する見附駅を、様々な情報や活動、文化を感じられる場にする企画。
- ・例として、「見附盆踊り」などの誰でも参加できるワークショップを通じて、世代や性別関係無く、集って楽しめる交流の場を提供するための取り組みのアイデアです。

⑤ 《見附高校生》 高校生が考える見附を面白くするためのプロジェクト

- ・駅から見附高校までの道に桜を植えることや、商品開発などの企画と合わせて、自分たちが主体のイベントを企画し、見附の良さをアップさせるアイデアを紹介。
- ・情報発信のネタを自分たちで考え、それを実践。そのネタをSNS等で発信する事で街の賑わいに繋げていくことなどを紹介しました。

⑥ 《do みつけ》 NPO法人 doみつけ(承認申請中) で取り組みたい活動を紹介

- ・つかう会議のコアメンバーが参加し、NPO法人doみつけを設立予定。
- ・NPOでは、見附をもっと面白くしたい、若者の新しい選択肢を作りたい、そんな活動を支援。若者支援では、見附に郷土愛を育み、将来見附に帰るキッカケとする見附版 comeback事業による取り組みを紹介しました。

① 《カフェ活用チーム》 カフェの設え



② 《ママ向けチーム》 平日の午前中の活用方法



③ 《若者向けチーム》 新たなコミュニティを創出する仕組み



④ 《多世代向けチーム》 みつけの文化・歴史を楽しく継承



⑤ 《見附高校生》 高校生が考える見附を面白くするプロジェクト



⑥ 《do みつけ》 NPO法人で取り組みたい活動を紹介

